この地に(84)

地元、熊野高校を通じて、地域と学校について考えていきます。

筆都が育てる、筆都を育てる

熊野高等学校

現在、過去、未来

時間のたつのは早いもので、平成14年度も残すところあとわずかになりました。

いつも熊野高校の教育活動にご理解ご協力いただきまして、心より厚くお礼申し上げます。

今年度もさまざまな諸行事、取り組みを通して生徒は大きく成長してくれたと思います。入学式から始まり、熊高祭・体育祭・クラスマッチなどから人とのつながりの大切さを学んでくれたと思います。

来年度はAクラス（国公立大学進学クラス）がスタートして3年目を迎え、いよいよ飛躍する年になります。どうぞ今後ともご声援をよろしくお願いいたします。

筆づくり体験

熊　高　祭

クラスマッチ

体　育　祭

鈴木大地 来校！

金城町交流会

くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野婦人俳句会】

会へばすぐ綽名とび出す浜とんど　大上充子
焼藷の匂ひ呉れたる焚火かな　遠山愛子
柚子湯して床の中まで匂ひけり　亀谷しず恵
わかち合ふ言葉さがしぬ花八つ手　阪本清子
書初や全校生徒一斉に　堀野眞理子
白梅の光こぼるゝ童子佛　立花よしえ
仏壇に供華新しく年始め　久保田フクヨ
降る雪を顔に受けつゝ露天風呂　大田文子
宿の下駄鳴らし外湯へ寒椿　上野啓子
冬晴や恋しき父母の墓訪ひぬ　山﨑貞子
あめつちの恵みなるかや七日粥　隠土信子

【西公民館俳句グループ】

仕舞湯の去年となりたる湯をおとす　西村柳子
若菜摘むせせらぎの音聞きながら　別府藤絵
竹炭のはじける音や時雨来る　渡辺文
友よりの年賀遠慮のはがき来る　長山法江
山茶花や茶筅に残るうすみどり　尺田せつ
凩や家出の猫の帰り来る　荒谷逸子
茶の花や土手の斜面に祠あり　関村光子
残る葉が鳥に紛れる梢かな　南村マサ子
薮柑子学園通り寂れをり　進藤聿美
七草に鉢植の菜を加へけり　喜花美鈴
枯芦を擦って入江に舟戻る　木村里風子